

中央検査部

《概要》

今年度は中央検査部として、採血チームを立ち上げた。必要な人員を十分に確保できたとは言いが切れないが、看護師と検査技師とを募集し、ある程度の人員を確保するに至り7月から外来採血を開始した。

一方、中央検査部には、輸血部に輸血認定技師を一名採用することが出来、これからの輸血部をより充実した輸血部になることを期待している。

独立行政法人化も計画に従い進められているものと思われるが、どのように変わるにせよ、病院、患者さまから信頼され、必要とされる中央検査部を造り上げていく為、検査部一丸となって努力して行きたい。

《実績》

平成 21 年度上期【外来】統計（項目数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
生 化 学	63,703	59,191	68,853	68,693	62,214	63,045	385,699
血 清	4,917	4,675	5,658	5,516	5,013	5,202	30,981
血 液	14,348	12,072	14,239	14,260	12,985	13,297	81,201
一 般	5,773	5,643	6,835	6,745	6,258	5,859	37,113
輸血（マッチング除く）	2,521	2,343	2,753	2,779	2,533	2,455	15,384
病 理（組織）	160	135	205	174	158	164	996
病 理（細胞）	596	552	708	616	478	617	3,567
細 菌（一般）	545	538	544	562	503	561	3,253
細 菌（抗酸）	57	75	53	75	50	96	406
生 理 機 能	2,218	2,062	2,571	2,579	2,215	2,239	13,884

平成 21 年度上期【入院】統計（項目数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
生 化 学	36,801	35,795	36,763	39,224	36,780	35,237	220,600
血 清	851	813	894	993	838	848	5,237
血 液	9,438	8,675	8,398	9,354	9,294	8,541	53,700
一 般	2,360	2,213	1,911	2,170	2,760	2,379	13,793
輸血（マッチング除く）	905	923	877	1,041	959	1,003	5,708
病 理（組織）	153	132	188	212	183	193	1,061
病 理（細胞）	48	34	49	44	41	43	259
細 菌（一般）	1,716	1,382	1,562	1,636	1,596	1,470	9,362
細 菌（抗酸）	68	30	53	51	32	53	287
生 理 機 能	661	555	631	656	574	631	3,708

平成 21 年度下期【外来】統計（項目数）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生 化 学	66,174	62,323	62,703	62,875	60,907	69,387	384,369
血 清	5,390	5,342	4,847	5,309	5,019	5,856	31,763
血 液	13,894	12,992	13,146	13,171	12,962	15,018	81,183
一 般	5,939	5,857	5,900	5,593	5,387	6,604	35,280
輸血（マッピング除く）	2,628	2,550	2,273	2,425	2,232	2,630	14,738
病 理（組織）	172	181	179	146	158	196	1,032
病 理（細胞）	710	562	609	520	509	687	3,597
細 菌（一般）	526	461	557	490	492	596	3,122
細 菌（抗酸）	74	44	48	43	26	54	289
生 理 機 能	2,441	2,355	2,180	2,208	2,206	2,681	14,071

平成 21 年度下期【入院】統計（項目数）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生 化 学	40,721	39,538	41,122	39,518	39,138	40,995	241,032
血 清	911	1,008	994	1,128	896	1,024	5,961
血 液	10,135	9,307	10,057	9,627	10,190	10,374	59,690
一 般	2,276	2,306	2,152	2,859	2,792	2,055	14,440
輸血（マッピング除く）	980	969	916	855	924	924	5,568
病 理（組織）	179	160	168	168	181	207	1,063
病 理（細胞）	41	45	37	56	55	32	266
細 菌（一般）	1,529	1,701	1,693	2,225	2,248	2,592	11,988
細 菌（抗酸）	82	66	24	57	40	33	302
生 理 機 能	753	697	806	769	708	715	4,448

平成 21 年度解剖件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期合計
件 数	0	2	0	1	1	0	4
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期合計
件 数	1	5	1	0	1	4	12
総合計							16

心電図（一般・負荷）件数 2009.4～2010.3

	一般（外来）	負荷（外来）	一般（入院）	負荷（入院）
4月	860	117	189	21
5月	761	140	135	12
6月	937	139	164	13
7月	911	147	202	13
8月	779	134	152	9
9月	789	140	173	12
10月	871	143	213	12
11月	804	164	159	22
12月	771	129	230	15
1月	788	118	192	17
2月	862	152	202	8
3月	923	179	177	4

超音波検査（乳腺・甲状腺）件数 2009.4～2010.3

	外来	入院	合計
4月	294	15	309
5月	313	7	320
6月	447	7	454
7月	412	10	422
8月	308	11	319
9月	362	20	382
10月	404	18	422
11月	357	18	375
12月	365	20	385
1月	351	12	363
2月	285	14	299
3月	398	16	414

超音波検査（腹部）件数 2009.4～2010.3

	外来	入院	合計
4月	255	62	317
5月	230	70	300
6月	277	85	362
7月	302	67	369
8月	283	70	353
9月	279	64	343
10月	298	85	383
11月	314	99	413
12月	300	83	383
1月	259	81	340
2月	250	78	328
3月	317	94	411

超音波検査（心臓）件数 2009.4～2010.3

	外来	入院	合計
4月	279	168	447
5月	243	144	387
6月	314	144	458
7月	334	156	490
8月	258	130	388
9月	257	153	410
10月	290	187	477
11月	306	177	483
12月	244	190	434
1月	277	204	481
2月	278	173	451
3月	340	187	527

平成 21 年度 CPC 症例

解剖 番号	性別	年齢	診療科	臨床 診断	病理 診断 (主 病 変)	CPC 実施日
445	男	75	内	肺炎、アスベスト肺	アスベスト肺(肺重量:左 440g、右 445g)、肺癌(右肺下葉、低分化型腺癌)	2010/1/14
447	男	71	内	非ホジキンリンパ腫	悪性リンパ腫(びまん性、大細胞型、B 細胞性、浸潤 :肝、腎、脾、肺、副腎、大網、腸間膜、胸腺、胃、胆嚢、小腸、大腸、全身リンパ節)、肺癌術後状態(右肺上葉、詳細不明、転移なし)	2009/4/8
449	男	74	内	胃癌、転移性肝癌	胃癌(胃体上虫部、中分化型腺癌、転移 : 肝、胆嚢、肺、リンパ節(胃周囲、脾臓周囲、腹部大動脈周囲))、アルコール性脂肪肝、(本態性高血圧症)	2009/4/8
450	男	75	内	非ホジキンリンパ腫	悪性リンパ腫(びまん性、大細胞型、B 細胞性、浸潤 : 腎、脾、胆嚢、肺、副腎、大網、腸間膜、心外膜、横隔膜、胸腺、小腸、大腸、後腹膜、全身リンパ節)	2010/2/10
453	男	77	内	急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群	急性骨髄性白血病(MDS overt AML)、陳旧性心筋梗塞(左心室前壁心室中隔、心内膜下)	2010/2/10
460	男	71	内	急性骨髄性白血病、肺炎	急性骨髄性白血病、糖尿病(膵臓ラ氏島アミロイド沈着、糖尿病性腎症)	2009/6/24
464	男	36	内	急性骨髄性白血病	急性骨髄性白血病非血縁者間同種骨髄移植術後状態(骨髄低形成、脾臓・リンパ節リンパ球減少)	2010/1/13
465	男	82	内	敗血症	糖尿病(膵臓 Langerhans 島大小不同、膵臓 Langerhans 島アミロイド沈着、糖尿病性腎症)、認知症(脳動脈硬化症、大脳萎縮、多発性ラクナ梗塞)	2009/6/24
466	男	78	内	原発性骨髄線維症、間質性肺炎	原発性骨髄線維症、大動脈弁石灰化、前立腺癌(潜在癌、中分化型腺癌、転移なし)、胃癌 ESD 術後状態(早期癌、詳細不明、再発転移なし)	2010/1/13
467	男	86	内	肺炎、慢性気管支炎、喘息、末期腎不全、血小板減少症	良性腎硬化症、小葉中心性肺気腫、前立腺癌(左葉、微小癌、中分化型腺癌、転移なし)	2009/10/14
468	男	58	内	肺癌、右頸部リンパ節転移、気道出血	肺癌(右上葉肺門部、大細胞癌、化学療法及び放射線治療中、転移 : 上行結腸漿膜下層、右副腎周囲組織、リンパ節(右肺門、右頸部)、肺癌(右上葉 S3、腺癌、転移なし)	2009/8/12
470	男	75	救外	多発性骨髄腫	多発性骨髄腫(浸潤 : 脾臓、肝臓、胆嚢、腎臓、肺、精巣、リンパ節)	2009/10/14

(* 平成 21 年度 病理解剖件数 16 体)

《業績》

(1) 検討会 (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	検討会名	年 月 日
1	『Mature B-cell neoplasms(Lymphoplasmacytoid lymphomaとFollicle lymphoma)・Mature T and NK-cell neoplasms(Adult T cell leukemia/lymphomaとSezary syndrome) の症例提示と細胞解説』	○根来利次 米本隆浩 小島義忠 中嶋忠雄	血液標本検討会 (大阪府 国立病院大阪医療センター)	2009.10.15

(2) 形態講演会 (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	講演会名	年 月 日
1	『Chronic myeloproliferative diseases(CMPD)(MPN) Chronic myelogenous leukemia の解説と見方の解説と見方・考え方』	○根来利次 米本隆浩 小島義忠 中嶋忠雄	和歌山県臨床衛生検査技師会 (和歌山県 ビックアイ)	2009.11.7

(3) 第10回静岡血液フォーラム (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	講演会名	年 月 日
1	『大阪のセミナー紹介と骨髄性白血病の細胞像症例を中心に』	○根来利次 米本隆浩 小島義忠 中嶋忠雄	静岡県臨床衛生検査技師会(静岡県 静岡市立静岡病院)	2010.3.7

(4) 学会報告 (2009.4~2010.3)

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	『多発する大腸癌に対し、超音波診断を施行した一切除例』	中村雅美 今濱麻美 沼田久子 柴川智子 岡 和子 藤井亮知 水野 均 位藤俊一 今北正美 伊豆蔵正明	日本超音波医学会 第36回関西地方学術集会 (大阪国際会議場)	
2	『術前超音波診断が有用であった小児虫垂炎の3例』	沼田寿子 中村雅美 岡 和子 山村憲幸 藤井亮知 飯干泰彦 藤井 仁 水野 均 位藤俊一 伊豆蔵正明	日本超音波医学会 第36回関西地方学術集会 (大阪国際会議場)	
3	『市販ソフトを使用した ICT ラウンドデータ管理化の試み』	川西史子 松本朝美 泉原里恵 中田ひとみ 鎌田史江 畑中雅喜 玉置俊治	第25回日本環境感染学会総会 (グランプリホテル新高輪・国際館 パミール(東京))	
4	『当院における感染対策病棟ラウンド』	泉原里恵 中田ひとみ 鎌田史江 森朝紀文 松本朝美 川西史子 畑中雅喜 玉置俊治	第25回日本環境感染学会総会 (グランプリホテル新高輪・国際館 パミール(東京))	

(5) 原著 (2009.4~2010.3)

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年 月 日
1	Interleukin 12 is a primary cytokine responding to influenza virus infection in the respiratory tract of mice.	Hama Y, Kurokawa M, Imakita M, Yoshida Y, Shimizu T, Watanabe W, Shiraki K.	Acta Virologica	53(4)	233-40	2009

(6) 症例報告 (2009.4~2010.3)

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年 月 日
1	転移性小脳腫瘍で発見され、頰内腺癌と共存していた子宮体部原発の小細胞癌の1例	今北正美 三ノ浦康彦 大重友紀 米倉由香	日本臨床細胞学会 雑誌	48(6)	400-403	2009